

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 藤井川 高潮対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名 藤井川 高潮対策事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	No. R5	調査位置	広島県福山市高西町川尻	北緯	34° 26' 22.4484"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	2022年 11月 8日 ~ 2022年 11月 12日	東経	133° 14' 28.7883"
調査業者名		主任技師		現代代理人	
孔口標高	T. P. 4.60m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	30.00m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 東邦地下工機 D1-B48 エンジン ヤンマー NFD-12
				ポンプ	東邦地下工機 BG-3B

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日			
										N値	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量						
4.40	0.20	アスファルト	(SCsG)	黒			現世	アスファルト15cmと砕石5cm、ともにφ70mm以下の角礫で採取。	11/08	9	1.15	3	3	3	9	300	R5-P1	土粒子密度・含水比・粒度		
		盛土・礫混じり砂	(SCsG)	淡褐	rd2		現世	礫分はφ30mm程度以下を主体に、まれに50~70mmの粒径のものを混入する。砂分の粒度分布は良い。全体に少量の細粒分を伴い、特に1.7~1.8m間で多くなる。貫入試料の含水は低く、乾燥状態にある。		9	2.15	2	3	4	9	300	R5-P2	土粒子密度・含水比・粒度		
		盛土・砂	(SC-Cs)	淡褐			現世	細中砂主体、細粒分を微量含む。		6	3.15	2	2	2	6	300	R5-P3	土粒子密度・含水比・粒度		
		盛土・礫混じり砂	(SC-Cs)	淡褐	rd2		現世	礫分は細礫を主体に、わずかな中礫を含む。最大径は30mm。砂分は粗砂主体、4mの貫入試料、高含水である。Cl-4.4mに無水掘り水位を認める。		10	4.15	3	4	3	10	300	R5-P4	土粒子密度・含水比・粒度		
		盛土・砂	(SC-Cs)	淡褐	rd2		現世	粗中砂主体、微量の細粒分を混入。試料の含水は中位。		6	5.15	2	2	2	6	300	R5-P5	土粒子密度・含水比・粒度		
		シルト混じり砂	(SC-Cs)	暗黄灰	rd2		現世	砂は粗中砂主体、φ2~3mmの細粒分を少量含む。含水は高い。		1	6.15	1	1	1	350		R5-P6	土粒子密度・含水比・粒度		
		シルト質砂	(SC-Cs)	暗青灰	rd1		現世	中砂が主体をなす。シルトをやや多く含む。全体に細粒分と貝殻片を散りばめる。高含水である。		3	7.15	1	1	1	3	300		R5-P7	土粒子密度・含水比・粒度	11/8
		砂質シルト	(CHS)	暗青灰	rc1		更新世	シルトとシルト質砂の相互層をなし、わずかに細粒分優勢である。砂分は細砂からなる。ごく少量の貝殻片と腐植物を混入する。含水は少し高い。		1	8.15	1	1	1	400		R5-P8	土粒子密度・含水比・粒度		
		シルト	(CLS)	暗青灰	rc1		更新世	全体に均質である。粗粒分の混入はほぼ認めない。微小貝殻片を微量含有している。含水は全体としては中位であるが、10mの貫入試料は高含水で、特に軟らかい。		0	9.60	0	0	0	600		R5-P9	土粒子密度・含水比・粒度・液塑性		
		砂混じりシルト	(GS-Cs)	暗灰	rc1		更新世	全体に細砂を含み、所々、不定形塊状に砂を混入する。12mの貫入試料は軟らかい。		1	10.45	0	1	1	450		R5-P10	土粒子密度・含水比・粒度		
		砂	(SCs)	褐灰	rd3		更新世	層相急変し、突如として粗粒土に変わる。礫分はφ30mm以下が主体をなし、特に10mm以下の中礫~細礫が多い。大径のものはφ40~50mmに達す。全体に垂直~角礫が多い。マトリクスは粗中砂を主体に少量の細粒分を伴う。試料の含水は中位である。		17	11.90	3	7	7	17	300		R5-P11	土粒子密度・含水比・粒度	
		砂質粘土	(SCs)	暗青灰	rc5		更新世	下方に粗粒化し砂分を増す。砂は細砂からなる。微量の中礫を混入する。		24	12.45	6	8	10	24	300		R5-P12	土粒子密度・含水比・粒度	
		礫混じり砂	(SC-Cs)	淡灰	rd3		更新世	礫分はφ15mm以下で細粒分が多い。砂は粗中砂からなり、全体に珪長質である。17.8mから、やや明瞭に細粒化。		29	13.15	9	8	8	25	300		R5-P13	土粒子密度・含水比・粒度	
		砂	(SCs)	淡灰	rd4		更新世	礫分はφ40mm程度以下、中礫~粗礫が多い。最大は連続長10cmで採取。マトリクスは粗中砂を主体に少量の細粒分を伴う。18.9~18.95m間、粘土の薄層を挟む。18mの貫入試料に粘土の小塊を認める。含水は中位。		38	14.15	7	10	12	29	300		R5-P14	土粒子密度・含水比・粒度	
		礫混じり砂	(SCs)	淡青灰	rd4		更新世	粗中砂主体の砂層。礫分は細礫主体で、大きくともφ30mm以下である。20.1~20.3m間、細礫混じりの粘土薄層を挟む。		16	15.15	4	6	6	16	300		R5-P15	土粒子密度・含水比・粒度	
		砂	(SCs)	淡灰	rd5		更新世	礫分はφ40mm以下主体、中礫以上のものが多い。マトリクスは粒度変化に富んだ砂で、所々で細粒分に富む。		25	16.45	9	8	8	25	300		R5-P16	土粒子密度・含水比・粒度	
		砂	(SCs)	淡黄褐	rd5		更新世	黄褐色の色調を伴うようになる。礫分はφ20mm程度以下のものが多い。ごくまれにφ3~5cmの円盤状のものを混入することがある。マトリクスはやや粒度分布の良い砂からなるが、少し細粒側に偏る。全体に少量の細粒分を伴う。含水は少し高い。		50	17.15	14	18	18	50	300		R5-P17	土粒子密度・含水比・粒度	
		粘土質砂	(SCs)	褐	rd3		更新世	強い褐色を示す粘土の薄層。少し固い感がある。含水はやや高い。		50	18.15	14	17	19	50	300		R5-P18	土粒子密度・含水比・粒度	
		粘土混じり砂	(SCs)	灰褐	rd5		更新世	礫分はφ20mm以下の角礫。粘土分が固		50	19.45	14	17	19	50	300		R5-P19	土粒子密度・含水比・粒度	
										50	20.15	3	8	14	25	300		R5-P20	土粒子密度・含水比・粒度	11/10
										56	20.45	18	20	12	50	270		R5-P21	土粒子密度・含水比・粒度	
										58	21.32	16	27	7	50	220		R5-P22	土粒子密度・含水比・粒度	
										68	22.05	18	21	11	50	260		R5-P23	土粒子密度・含水比・粒度	
										21	22.31	16	27	7	50	220		R5-P24	土粒子密度・含水比・粒度	
										21	23.37	4	7	10	21	300		R5-P25	土粒子密度・含水比・粒度	11/11

